

美術館庭園アートプロジェクト 松井紫朗の センス・オブ・ ワンダー

庭と宇宙と私たちをめぐる

冒険へようこそ

センス・オブ・ワンダーの庭

2018年8月26日(日) ▶▶▶ 12月2日(日) 10:00▶▶▶17:00

改修のため館内展示室は閉室しています
観覧無料 閉場日:月曜(9月17日、24日、10月8日を除く)および9月18日、25日、10月9日
天候により閉場する場合があります。

手に取る宇宙

—Message in a Bottle

地上ミッション

(申し込み制)

申し込み方法は、
<http://www.city.himeji.lg.jp/art.html>

1 地上ミッション 日本 姫路城
7月25日(水) 15:30~19:00頃
※7月21日までに申し込み(必着)

2 地上ミッション 日本 姫路科学館
8月31日(金) 9:45~12:30頃
※8月10日までに申し込み(必着)

3 地上ミッション 日本 姫路市立美術館
10月28日(日) 16:30~18:00頃
※10月12日までに申し込み(必着)

〔主催〕 姫路市立美術館 〔企画協力〕 NPO法人CAPSS

〔協力〕 アメリカ航空宇宙局(NASA)、株式会社インフォート、

京都大学学術情報メディアセンター 森幹彦・元本環、

京都市立芸術大学VD研究室 辰巳明久・松原仁、

Michael Whittle, Charles Worthen, 重村彦、外山光男

〔後援〕 国立研究開発法人 宇宙航空研究開発機構(JAXA)、朝日新聞姫路支局、

FMゲンキ、神戸新聞社、産経新聞社サンテレビジョン、播磨時報社、播磨リビング新聞社、

姫路ケーブルテレビ、毎日新聞姫路支局、読売新聞姫路支局、ラジオ関西



姫路市立美術館
Himeji City Museum of Art



姫路市本町 68-25 TEL 079-222-2288 <http://www.city.himeji.lg.jp/art.html>

MATSUI Shiro

The Sense of Wonder

Himeji City Museum of Art

美術家・松井紫朗は問います。「私たちがいる地球を包み、無限のかなたにひろがる宇宙。私たちは今、この宇宙のどこに、どう生きていますか？」自然科学の原理を応用した作品等で、人間の知覚や空間認識に揺さぶりをかける松井紫朗の作品は、私たちの内面に新たな価値観を醸成させる力に満ちています。「松井紫朗のセンス・オブ・ワンダー」は、改修のために休館中の美術館をプラットフォームとして展開される二つのアートプロジェクトによって構成されます。

一つは《センス・オブ・ワンダーの庭》、もう一つは《「手に取る宇宙—Message in a Bottle」地上ミッション》です。イマジネーションの旅人・松井紫朗とともに参加者は、美術館、地球、宇宙、そして自身の内面を巡ります。国際宇宙ステーションの軌道上の「宇宙」を手にしたり、変容する美術館空間を体感する、そんな旅の体験は、日常とは異なる視点からの私たち自身への問いかけです。

センス・オブ・ワンダーの庭

(作品展示・観覧無料)



建物・庭園に、サイト・スペシフィックなバルーン状の造形物が出現します。
※会期中は改修により館内展示室は閉室中です

8月26日(日) ▶▶ 12月2日(日)
10:00▶17:00 天候により開場する場合があります
閉場日:月曜(9月17日、24日、10月8日を除く)および9月18日、25日、10月9日。

申込不要。開始時間までに動きやすい服装で美術館庭園南入口付近(動物園側)にお集まりください。

○オープニング記念 アーティスト・トーク&スペシャル・ツアー
8月26日(日) 14:00~15:30 作家の松井紫朗によるトークと、「センス・オブ・ワンダーの庭」の作品体験を行います。

○アーティスト・スペシャル・ツアー
8月31日(金) 15:00~16:00 作家の松井紫朗と共に「センス・オブ・ワンダーの庭」の作品を内から、外から体験します。

○スペシャル・ツアー
9月2日(日) ①11:00~11:30 ②14:00~14:30
学芸員と共に「センス・オブ・ワンダーの庭」の作品を内から、外から体験します。

手に取る宇宙—Message in a Bottle 地上ミッション

(申し込み制)

JAXA、NASAなどの協力を経てガラスボトルに詰められた宇宙空間を実際に手に取り、心に浮かんだ事を書きとめ、ウェブ上のアーカイブにアップします。書きとめた紙は特製のマイボトルに入れて持ち帰ります。



申し込み方法

以下の内容を明記し、郵送、FAX、または当館HPの申し込みフォームよりお申し込みください。同時に4人までお申し込みいただけます。①イベント名 ②郵便番号・住所 ③氏名(ふりがな) ④年齢 ⑤連絡の取れる電話番号※2人、3人、4人で申し込みの場合は、全員分の名前と年齢を明記してください

[申し込み・お問合せ先]
〒670-0012 姫路市本町68-25
姫路市立美術館
松井紫朗のセンス・オブ・ワンダー イベント係
Tel 079-222-2288 / Fax 079-222-2290
<http://www.city.himeji.lg.jp/art.html>

1 地上ミッション 日本 姫路城 (協力:姫路城管理事務所)
松井紫朗と共に姫路城を巡り、宇宙を手に取ります。
7月25日(水) 15:30~19:00頃 ※7月21日までに申込(必着) [場所] 美術館講堂および姫路城(受付は美術館講堂) [イベント参加費] 300円(材料費) ※別途入城料 一般1,000円、小学生~高校生300円が必要 [定員] 20人(一般対象(小学3年生以上参加可)・事前申込制・定員を超える場合は抽選)

2 姫路科学館開館25周年記念
地上ミッション 日本 姫路科学館 (共催:姫路科学館)
松井紫朗と共に、プラネタリウムで宇宙を手に取ります。
8月31日(金) 9:45~12:30頃 ※8月10日までに申込(必着) [場所] 姫路科学館 プラネタリウム(受付は9:30より科学館エントランスホールにて) [イベント参加費] 300円(材料費) ※別途プラネタリウム観覧料 一般400円、小学生~高校生160円が必要 [定員] 50人(小学3年生以上・事前申込制・定員を超える場合は抽選) ※きょうだいに限り小学3年生未満でも参加可。ただし付き添いが必要です。[プラネタリウム・レクチャー] 姫路科学館学芸員 徳重哲哉

3 地上ミッション 日本 姫路市立美術館
美術館庭園に設置された松井紫朗による特設ドームで宇宙を手に取ります。
10月28日(日) 16:30~18:00頃 ※10月12日までに申込(必着)
[場所] 美術館庭園 [イベント参加費] 300円(材料費) [定員] 40人(小学3年生以上・事前申込制・定員を超える場合は抽選) ※きょうだいに限り小学3年生未満でも参加可。ただし付き添いが必要です。

その他のご案内

姫路科学館 Tel.079-267-3001
プラネタリウム「キングペンギン」連動特別展
アイス・ワンダーランド 7月27日~9月3日

姫路文学館 Tel.079-293-8228
特別展 絵本作家いわむらかずおの世界 6月23日~9月2日
姫路市書写の里・美術芸館 Tel.079-267-0301
夏休み子どもミュージアム 紙であそぶ—紙と工芸品 7月14日~8月26日

所蔵品展のご案内

姫路市民ギャラリー(イ・グレ・みじ地下1階)
「郷土の洋画家たち」8月22日~9月15日
「日本画の世界」10月2日~10月21日
「ベルギー近代美術名品選」11月6日~11月18日

[交通のご案内]

JR・山陽電車姫路駅より、
神姫バス 3,4,5,61,62,64,81,82,84,86乗車約6分
「姫山公園南・医療センター・美術館前」下車す。
姫路駅より徒歩約20分(姫路城東隣)
※美術館には駐車場がありませんので、
近隣の駐車場(有料)をご利用下さい。



松井紫朗(まついしろう/美術家)

1960年奈良県天理市生まれ。多様な素材、ユーモアと理知を備えた独自の立体造形で注目を集める。1997年よりテント用の素材や、スパンデックスやリップストップと呼ばれるナイロン素材のバルーンを使った作品を次々と展開。1996年松井が提唱した「手に取る宇宙—Message in a Bottle」は2011-13年にNASAとJAXAの協力によって宇宙空間で実行され、現在地上ミッションを展開中。現・京都市立芸術大学教授。